

サービス インターバル ディスプレイ: リセット

ダイアグノシス テスター を使用したサービス インターバル ディスプレイリセット → [参照箇所](#)

ダイアグノシス テスター を使用しないサービス インターバル ディスプレイリセット → [参照箇所](#)

サービス インターバル ディスプレイに関するインフォメーション
→ [参照箇所](#)

サービス インターバル ディスプレイのリセットは、以下の場合に実施する。

- Ⓔ デリバリー インспекション時
- Ⓔ オイル交換およびインターバル サービス時
- Ⓔ 各オイル交換(ロングライフ/固定)および各インспекション時

リセット(アダプテーション)



注:

サービス インターバル ディスプレイ(SIA)は手動でリセットすることもできるが、その場合はSIAが固定サービスにコーディングされるため、ロング ライフ サービスにコーディングされている車両は注意すること。また、オイル品質のアダプテーション チャンネルも変更される。

ダイアグノシス テスター を使用したサービス インターバル ディスプレイリセット

ODIS
– ダイアグノシス テスター を接続する。 → 参照箇所
– イグニッション スイッチをオンにする。
– 車両識別を実行する。
– "故障診断ガイドで修理する" を選択する。
– "ECUリスト" を選択する。
– "ダッシュ パネル インサート" を選択する。
– "ECU識別" を選択する。
– "機能ガイド" を選択する。
– リセットするサービスを選択する。
– "機能ガイド" の指示に従ってアダプテーションを実行する。

ダイアグノシス テスター を使用しないサービス インターバル ディスプレイ リセット

オイル交換サービスのリセット

- イグニッション スイッチをオフにし、ボタン -1- を押す。
- ボタン -1- を押した状態で、イグニッション スイッチをオンにする。

これにより、オイル交換サービス用サービス インターバル ディスプレイはリセット モードになる。

- オイル交換サービスをリセットするには、ボタン -1- から手を離し、20秒以内にボタン -3- を短く1回押す。

しばらくするとディスプレイは、標準の表示モードに戻る。

インスペクションのリセット:

- イグニッション スイッチをオフにし、ボタン -1- を押す。
- ボタン -1- を押した状態で、イグニッション スイッチをオンにする。
- サービス インターバル ディスプレイがオイル交換サービスのフィードバック モードになっている場合、ボタン -1- から少しの間手を離し、改めてボタン -1- を押す。

これにより、インスペクション用サービス インターバル ディスプレイはリセット モードになる。

- インスペクション サービスをリセットするには、ボタン -1- から手を離し、20秒以内にボタン -3- を短く1回押す。

しばらくするとディスプレイは、標準の表示モードに戻る。

